



2023（令和5）年度

二 中 だ よ り



第8号

2023（令和5）年5月29日 発行責任者 加賀谷 登

梅雨・台風に向けて

台風2号が発生し、沖縄周辺に近づいています。修学旅行・遠足を控えて、その進路が気になるところです。

さて、間もなく梅雨の時期を迎えます。台風がいつ発生して近づいてもおかしくありません。先日14日には、休日ではありましたが、大雨・洪水警報が阿南市に発表されています。異常気象による警報発表に備えて、「警報発表時の対応について」（令和5年4月18日）を再度ご確認ください。また、警報が発表されていない場合でも、登校するのが危険と判断された場合は、自宅で待機させてください。子どもの命を守ることを第一に考えてご判断ください。よろしくお祈りします。

絵本のすすめ

先日、ある会合で絵本の話になりました。その後も、絵本のことを話す機会があったので、今回は「絵本のすすめ」について紹介させていただきます。

絵本の読み聞かせには様々な効果があって、小学校などでは、担任の先生や読み聞かせボランティアの方が、読書の時間や国語の授業などで様々な絵本の読み聞かせをしている学校も多いです。高学年の児童が、低学年・中学年の教室を回って読み聞かせをしている学校もあります。小さな子どもへの読み聞かせの効果は、今更説明するまでもないと思いますが、実は絵本を読むことは、大人にも様々な効果があるのです。

効果① 癒やし効果（リラクセス効果）

絵本の色彩や幼い子ども向けに書かれた優しい言葉・内容が、子どもだけでなく大人にも癒やしとなるのです。仕事等で疲れた心身にリラクセス効果をもたらしてくれます。

効果② 大人へのメッセージ

絵本の文や画には、「考える力」や「想像力」を刺激する力があります。絵本の場面展開の早さや画は大人にもいろんなことを想像させてくれるのです。

効果③ 心に響くメッセージ

絵本の中には、私たちが生活していく上で、あるいは子どもに語って聞かせる上で、強いメッセージとなる作品があります。例えば、「スイミー」。「スイミー」からは、個性を尊重することや仲間と協力することの大切さ等を学ぶことができます。

効果④ 脳への刺激

絵本を1ページずつめくることは、指先から脳への刺激になります。また、絵本の色彩も脳へ効果的な刺激を与えてくれるのです。

「なかなか絵本を読む時間なんかない。」と言われる方もいるとは思いますが、ほとんどが数分で読み終えることができます。ぜひ試していただけたらと思います。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、私の好きな絵本作家を紹介させていただきます。

絵本作家の紹介

☆くすのき しげのり さん

徳島県鳴門市出身の絵本作家です。大学在学中より、創作童話や絵本などの児童文学の創作活動をされてきました。小学校の教員を26年間勤められ、50歳を前に退職して、その後、創作活動や講演活動を本格的にスタートされました。

【代表作】

- 「おこだでませんように」
- 「ええところ」
- 「ともだちやもんな、ぼくら」
- 「ぼくはなきました」
- 「ぼくのジィちゃん」

くすのきさんの作品には、相関関係にあるものがあります。ある作品に登場する子どもが、違う作品で大人になっておまわりさんになっていたり、学校の先生になっていたり、この先生のクラスの子どもが違う作品に登場しているなんてこともあります。そんなところも楽しめる要素の一つです。

インターネットで瞬時に何でも見たり、調べたりできる時代になりましたが、実際の本に接することも大切です。絵本だけでなく、読書をしたり、辞書を引いて調べたりすることが子どもの成長には欠かせません。ご家庭内でも、お子さんと一緒に本に接する時間をつくってみてはいかがでしょうか。

部活動の記録

5月27日（土）に行われた部活動の結果をお知らせします。この日はサッカー部の公式戦がありました。今行われているリーグ戦の初勝利を飾ることができました。今後もこの調子で頑張ってください。

【5月27日（土）】

○高円宮杯JFA U-15サッカー徳島県リーグ
阿南二中 2 対 1 北井上・応神・城ノ内

人権コーナー

毎月第一日曜日は、家庭人権学習の日です。6月は、6月4日です。資料をもとに各ご家庭でぜひ話し合ってみてください。今回は、2022年度「全国中学生人権作文コンテスト」で法務大臣賞を受賞した岐阜県の中学1年生の作品を紹介します。

ホームページには掲載いたしません。ご理解お願いいたします。